

町田市との連携 「RUN伴 まちだ2017」へのご協力

セブン-イレブン・ジャパン

2017/11/6

セブン&アイ HLDGS.

CSRアクション

セブン-イレブン・ジャパンでは、全国各地の自治体との協定締結を推進し、地域ごとにさまざまな取り組みを行っています。

町田市と昨年締結した「高齢者の見守り活動に関する協定」に基づき、9月24日（日）に行われた認知症の啓発イベント「RUN伴 まちだ2017」の開催にご協力いたしました。

今後も地域の課題に向き合いながら、各自治体との連携・協力を進めてまいります。



セブン-イレブン・ジャパン
西東京ゾーン
行政推進担当 星野 浩伸



町田市×セブン-イレブン・ジャパン
「高齢者見守り活動に関する協定」（2016年3月23日締結）



RUN伴 まちだポスター

「RUN伴（ランとも）」とは、これまで認知症の人と接点のなかった地域住民の方と、認知症の方やご家族・関係者が一緒にタスキをつなぎ、日本全国を縦断するイベントです。

9月24日（日）に、町田市を南北に縦断するタスキリレー「RUN伴 まちだ2017」が開催されました。コース上に位置するセブン-イレブン10店舗がタスキリレーの中継地点・ゴール地点として駐車場スペースをご提供し、開催にご協力いたしました。

セブン-イレブン・ジャパンは、町田市と締結している「高齢者の見守り活動に関する協定」に基づき、「見守りネットワークまちだ」の協力事業者として、各店舗とともに地域の高齢者の見守り活動に参加しています。

店舗でのご協力の様子



セブン-イレブン町田中町2丁目店にて
タスキリレーをしたランナーの方々



走り終わった人がタスキに自分の名前を書いて
次の区間のランナーに手渡していきます



ゴール地点の町田相原駅南店に
集合したランナーと応援の方々



町田相原駅南店には7カフェカーを配置して
7カフェの試飲会も行いました

ランナーは、午前10時に南町田をスタート。セブン-イレブン9店舗を含む中継地点でタスキリレーをしながら、午後3時にゴール地点のセブン-イレブン町田相原駅南店に全チームが到着。ケガや事故もなく、約20kmの道のりを無事にタスキでつなぐことができました。西東京ゾーン初の取り組みとして、加盟店様とともに運営にご協力し、イベントは盛況でした。

関連情報

「RUN伴 まちだ 公式facebook」

<https://www.facebook.com/events/145283969396062/>